

De-Pos Ver 4.0.0.2 → Ver 4.1.0.1 における変更内容の詳細

はじめに

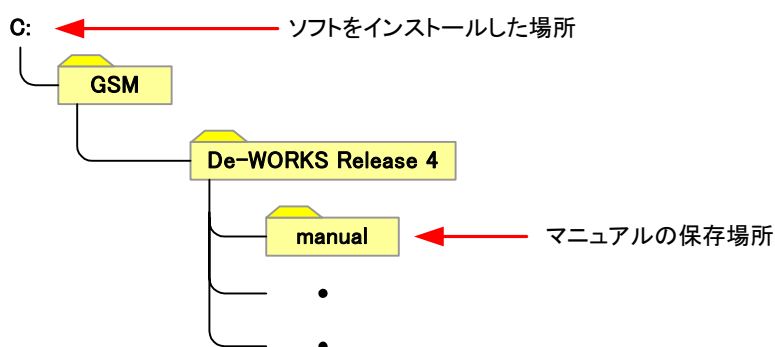
今回のバージョンアップではDe-Posに大幅な機能追加が施されました。

本書では追加された機能を紹介します。

仕様詳細および操作方法は、De-Posのマニュアルをご覧ください。

マニュアルはインストール後、以下のフォルダに保存されています。

本書にある参照ページは、De-WORKS Release 4 De-POS 取り扱い説明書 402-01のもので

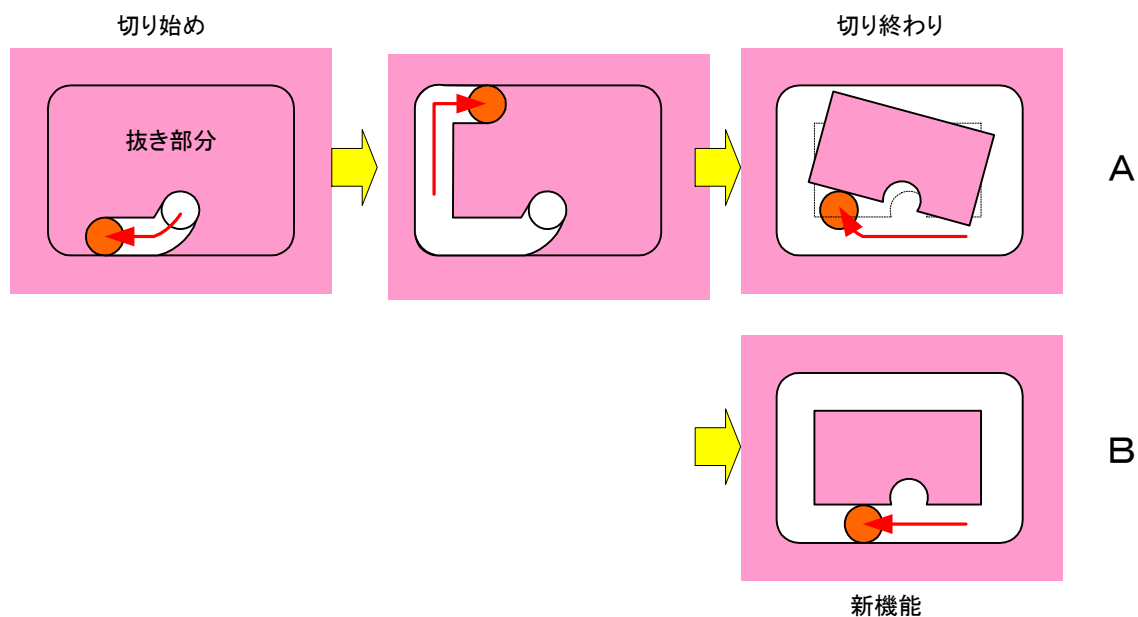


バージョンアップによる変更内容

ルータによる補正キャンセル時に移動させない仕様追加

⇒【 De-Posマニュアル P87 終点側有り 】

ルータによる切抜き加工の場合、加工の終わり（キャンセル時）に切り離してフリーとなった材を押さないような動作を追加しました。



ルータの加工条件の中で、「自動アプローチ」がONの場合、終点アプローチの切り替え設定を設けました。

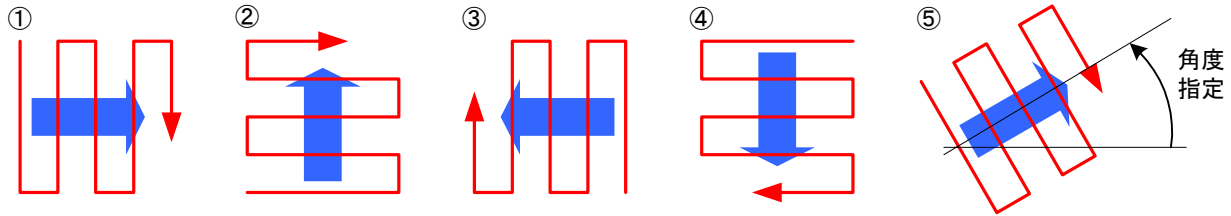
「終点側有り」がONの場合は既存仕様どおりAの経路、「終点側有り」がOFFの場合は、Bの経路になります。

ポケット加工種類の拡張

⇒【 De-Posマニュアル P131 ざぐり形状 】

ポケット加工の種類にジグザグの経路を追加しました。（既存は渦巻き形状のみ）

追加された加工種類



※ De-WORKS Release 3 TYPE-R よりアップグレードされた場合、ポケット加工はオプションとなります。

加工順番の調整機能

⇒【 De-Posマニュアル P191 】

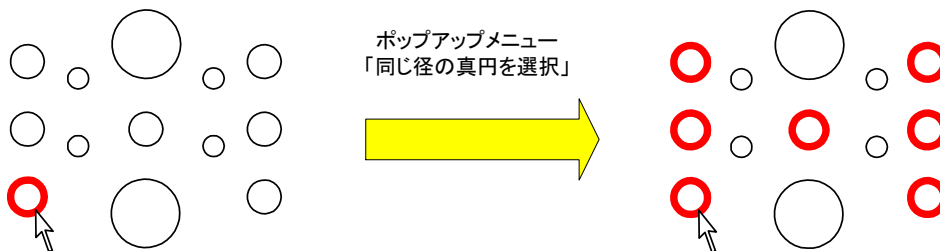
「経路確認」に「順番変更」の機能を設けて、加工順番を手動にて自由に調整できるようになりました。リアルに加工の経路を確認しながら順番替えを行うことができます。

※ De-WORKS Release 4 タイプ・2 以上のユーザー様のみ利用できます。

経路取り込み時に同一径の円を一括選択

⇒【 De-Posマニュアル P101 】

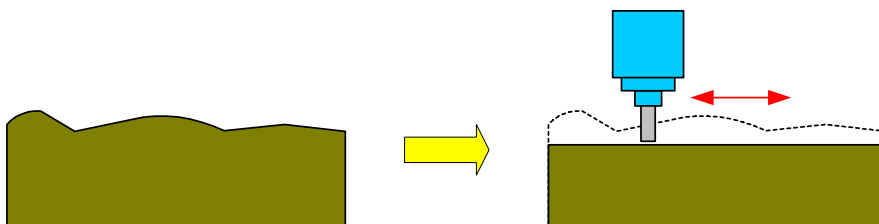
経路取り込み作業にて、ボーリングなどの経路データを作成する際、図面上の同一径の円を一括選択する機能を追加しました。円要素の数が多い場合に便利になります。



面出しコマンドを追加

⇒【 De-Posマニュアル P117 面だし 】

ワークの表面を均一の高さに削り出す機能を追加しました。



モード変更の仕様変更

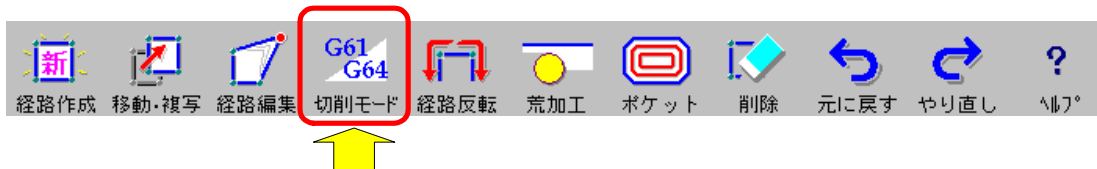
⇒【 De-Posマニュアル P125 切削モード 】

既存の「モード変更」コマンドは、切削のモード（G64/G61）を変更する機能でした。

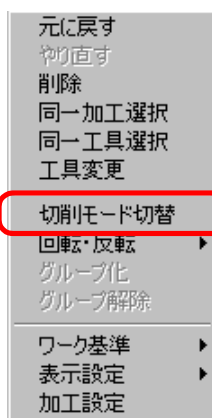
これまでは1ポイントごとに指定して変更しなければなりませんでした。

これを条件を設定して全ポイントを一括して変更することができるようになりました。

コマンド名称も「切削モード変更」コマンドに変更して、「経路編集」アイコングループから「編集」アイコングループに移しました。



また、ポップアップメニューからも行うことができるようになりました。



実行する毎にG64とG61が切り替わる

経路取り込み時に「部分呼出」機能を追加

⇒【 De-Posマニュアル P99 部分経路データファイルの呼び出し 】

経路作成コマンドの中にある「部分呼出」コマンドを、CADからの経路取り込みにも追加します。

CAD図面で指定されたポイントに対し、事前に作成された経路データ（部分保存）を呼び出すことができます。

経路作成時に「マーク」機能を追加

⇒【 De-Posマニュアル P121 マーク経路データの作成 】

経路作成メニューへ「マーク」機能を追加しました。

これにより、De-CAD図面からの取り込み時だけでなく、ワーク上の任意の位置へマークの経路データを作成することが可能となります。

「ワーク削除」コマンドを追加

⇒【 De-Posマニュアル P122 ワーク削除 】

ツールバーへワーク削除のコマンドを追加しました。

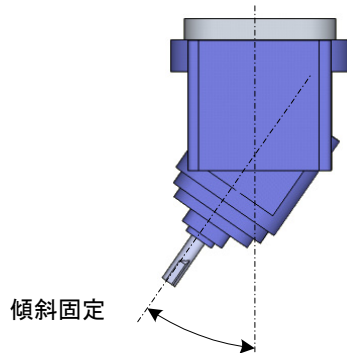
（これまではワークコマンドの中でしか行うことができなかったもので、使いやすくなります）

傾斜ホルダの追加

⇒【De-Posマニュアル P237 傾斜ホルダの設定】

ホルダの種類に「傾斜ホルダ」を追加しました。
固定傾斜のヘッドに対応します。

(固定傾斜ヘッドとは、NC制御やM信号により角度が変化しない傾斜ヘッドのことです)



※ 傾斜ホルダを利用するには、別途「傾斜面加工オプション」が必要です。

その他

- ・「ポケット」と「荒加工」および「経路反転」のコマンドにおいて、元経路の選択時の判定条件を一部変更しました。
- ・ワークデータもアンドゥの対象になるように変更しました。
- ・重なった経路データのマウス選択を可能にしました。

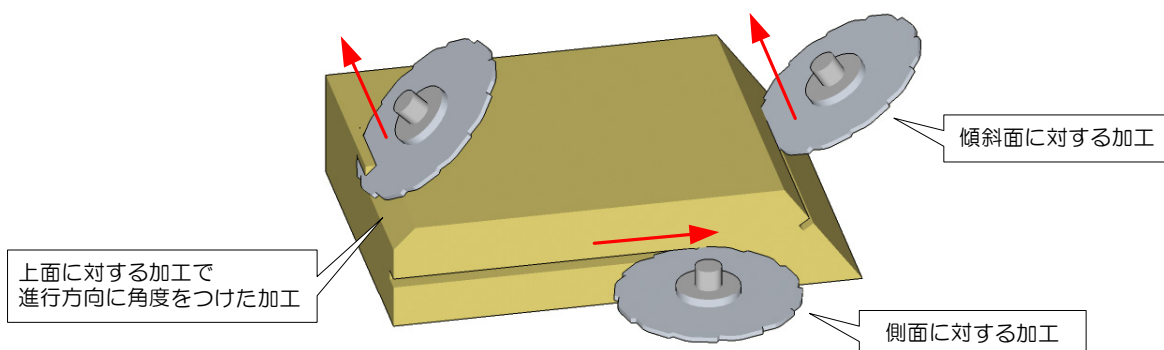
オプションソフトの紹介

今回のバージョンアップで、新たに以下の2つのオプション機能を追加しましたので、あわせてご紹介いたします。
別途ご検討下さい。

鋸傾斜オプション

傾斜させた鋸加工に対応します。

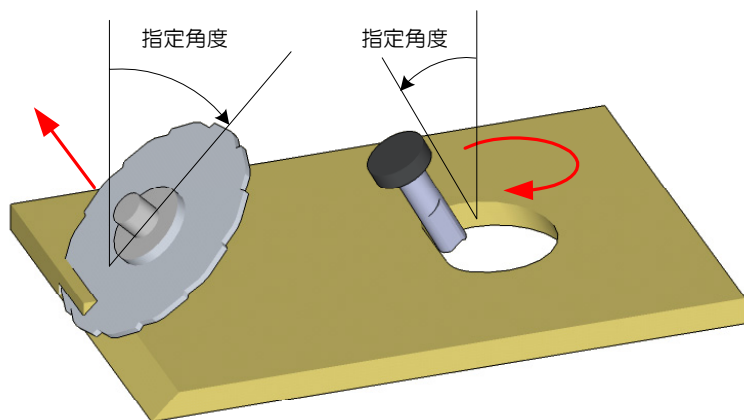
鋸進行方向に対して角度をつけた加工、または側面や傾斜面に対する加工を行うことができます。



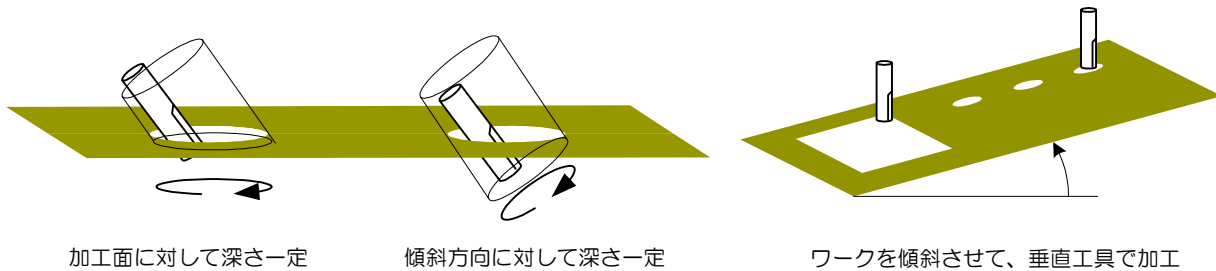
面に対して角度を指定する場合は、「傾斜投影変換オプション」があると便利です。

傾斜投影変換オプション

ワーク面に対して、指定した角度だけ傾けて加工するプログラムを作成することができます。



ルータによる切抜きや穴あけでは、さまざまな加工方法を選択できます。



※ 上記2つのオプションを利用するには、別途「傾斜面加工オプション」等が必要となります。オプションの組み合わせ詳細につきましてはお問い合わせ下さい。